

# 木材ジャーナル 名古屋・せぶ

平成30年10月号 No.137

名古屋木材組合  
名古屋港木材産業協同組合

## 30年度「木の日」の要望活動実施

木材業界では例年「木の日」(10月8日)を期して、業界全体として木材の利用推進のための普及啓発活動等を展開してきている。

愛知県木材利用推進協議会(西垣洋一会長)では、本年9月26日(水)に協議会構成団体の各代表等19名が参加して、県庁、県議会、県警本部に木材利用推進に関する要望活動を行った。その要望活動の内容は次の通りでした。



(勝又農林基盤局長)



(愛知県 森岡副知事)



(鈴木県議副議長)

### 要望項目

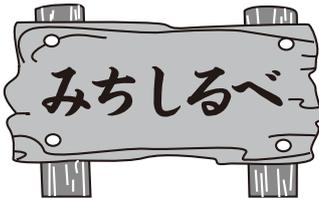
〔県、県議会、県警本部〕

- 1 「あいち森と緑づくり事業」による、愛知県産木材を利用したPR効果の高い民間非住宅施設等への支援
- 2 アジア競技大会関連施設の整備における木造・木質化・木製品の採用
- 3 県産木材利用促進に向けた基本方針「あいち木づかいプラン」に即して、県が整備する若しくは補助する公営住宅、学校、福祉、観光、公園施設等の公共施設並びに公共工事における利用促進
- 4 木造住宅の建設促進及び木材利用促進のための施策の推進
- 5 愛知県環境物品等調達方針に基づく「合法木材・木製品」の調達
- 6 それぞれの取組における、産地が明らかで環境負荷の少ない「あいち認証材」の優先利用

### 愛知県木材利用推進協議会構成団体

団体名	代表者
一般社団法人愛知県木材組合連合会	会長 西垣 洋一
愛知県木材協同組合連合会	会長 服部 伸一
愛知県森林組合連合会	代表理事長 村松 幹彦
愛知県森林協会	会長 三浦 孝司
愛知県木材市場連盟	会長 石井 保治
愛知県木材買方協同組合	理事長 竹内 喜陽雄
中日本合板工業組合	理事長 内藤 和行
愛知県集成材工業協同組合	理事長 中野 修
愛知県木材青壮年団体連合会	会長 柴田 英明

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



## 2008年9月リーマン・ショックから10年! 更なる2020年以降に向け、新たな需要の創造を!!

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

2008年9月15日、米国の住宅バブルを背景とするサブプライムローン問題に端を発した米投資銀行リーマン・ブラザーズの破綻から10年の歳月が経ちました。「100年に1度」の金融危機を引き起こした“リーマン・ショック”は世界同時不況を引き起こし、危機は「金融」から「経済」「財政」「政治」の4段階で進行しました。

この10年で世界経済は回復してきましたが、危機の後遺症はあちこちに残っています。金融危機の実体経済への波及を食い止めるべく各国は財政・金融両面で景気対策を打ち出したため、多くの国が、そのツケともいえる財政危機に陥り、ギリシャを始めとする欧州債務危機を引き起こしました。又金融危機の後始末への公的資金の投入と経済危機に伴う失業増は、政府への国民の不満を高め、反移民や保護主義など世界的にグローバル経済への不信や大衆迎合主義（ポピュリズム）が広がっていきます。それがトランプ大統領誕生や英国のEU離脱などの政治混乱の一因と言われています。

日本でもこの10年間に東日本大震災、政権交代、超金融緩和など様々な分野で次々と大きな動きがありました。現在は日本も数字の上では好景気が続き、経済白書では「景気拡大は、戦後最長が視野に入った」と宣言されています。ただその後遺症は、社会に歪みを生み、日本のものづくりを支えてきた町工場などは衰退し、雇用の面でも急激なリストラの結果、生産年齢人口の減少という構造的な人手不足を覆い隠し、対応を遅らせてしまっています。

又、景気は拡大しているとはいえ、企業業績の面では、2007年度を100.0とすると全企業の売上高合計は2017年度で98.8に留まっています。木材住宅業界においても、新設住宅着工数は、2005年に起きた姉歯事件、構造計算偽造問題を受けた2007年の改正建築基準法の施行の影響で、2007年度に128.5万戸から103.5万戸（19.4%減）まで落ち込みました、更に翌年のリーマン・ショックにより2008年度の103.9万戸から2009年度には25%減の77.5万戸まで落ち込みました。新設住宅着工数も回復はしてはいるものの2017年度は94.6万戸ですので、やはりリーマン・ショック前の水準には届いていない状況です。

2020年以降の大変革期を迎える日本も、少子高齢化・過疎化の進展、グローバル化の一層の進展、AI・IoTなどのロボット化・自動化技術の進歩により社会の有り方が変わると言われています。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」、「事前の一策は事後の百策に勝る」の如く、危機管理の要諦であるこの言葉を今一度心に刻み、慢心することなく行動することが求められています。

木材業界においては、需要の柱である新設住宅着工数の減少が避けられない状況において、新たな需要を創造し生産性の向上を図ることが取るべき事前の一策となります。新たな需要の創造は、言葉を変えれば業界の悲願である“ウッドファースト社会の実現”に向けての大きな1歩でもあります。再生可能な資源である木材の利用促進は、時代の要請である低炭素・循環型社会の実現の面からも、大きなフォローの風を受けています。2020年からの大変革期を大きなチャンスと捉え、組合としましても今進めている活動を、皆様のご協力のもと強化して参りたいと思います。

## ◆ 合縁木縁 ◆

## ◆ 自遊ご異見番 ◆

## 「モノづくりの原点」

長い間、今の仕事を続けさせていただき、気がつけば40年を超えた。生まれたのは「団塊の世代」の2年ほど後で、「しらけ世代」(1950～64年生)と呼ばれる。「70年安保」の直前。時代のうねりを高校時代に経験した。入った大学のキャンパスには、はじけたエネルギーの余熱と、先が見えない漠然とした不安が交錯していた。

石油ショックを経て社会に出たが、バブルを知らないまま、後の長い「失われた時代」を迎えるが、ただ翻弄され、「いい時代」を感じることはなかった。もっとも、これは今の若い世代と同じだろう。

とくに平成の30年間は大きな変化だった。右肩上がりの地価神話を背景にした拡大の経営手法が破綻し、少子高齢化などによる市場の縮小が、あらゆる業界の再編を促進させた。とりわけネットの普及は素人の想像を超え、流通の世界を一変させた感がある。

IT技術の向上とともに、サービス、流通業の売上げがモノづくりの企業のそれを上回り、利益も膨れ上がった。消費市場ではデパートやスーパー、個人商店が淘汰され、コンビニをはじめ、アマゾンに代表される通販に利益が集中。小規模企業は後継者不足も重なり、現在もなお撤退廃業の決断に迫られている。

技術革新もそのサイクルが早くなってきた。モノづくりの雄として年間2.5兆円の利益を挙げるトヨタの社長が「今は100年に一度の変革の時」と危機感を訴える。持続的社會を維持するためには、作れば売れた時代の成功体験が続かない。今、頂点にあっても、先のエネルギー状況に目を据えないモノは、売れない時がやって来る。そんな変化の時代に我々は生きていることを実感する。

モノづくりの転換期と言える。「楽天」、「メルカリ」や「ZOZO」といった通販サイトが耳目を集め、急拡大を続ける一方、流通する商品を誰が何を、どうつくるかという、モノづくりの原点が置き去りにされている。今売れるものを、在庫を持つことなく、売れる時に売りまくる。それは、「モノより、コト」が優先される時代を映している。売るとは重要だが、何を何のために売なのか。仕事は何のためにするのかという、今の「働き方改革」につながる、働くことの意義や喜びが二の次にされているかのようだ。

40年以上、今の仕事を続け、木材への愛着がとて強くなり、木材のよさを確信している。自然素材の代表である木材が人の生活に役立ち、多くの人が生活に潤いを感じてほしい。同時にモノづくりの大切さとやりがいの大きさを感じられる社會を願っている。

今回は、中部木材倉庫(株) 常務取締役 成田 良光氏をお願いします。

## 「還暦の修学旅行」

6月の初旬に高校時代の二人の友人と中国の古都西安に旅行にでかけた。きっかけは昨年11月に開かれた高校の還暦同窓会での久しぶりの再会である。

たまたま私を含めた3人は大学こそ別々ではあったものの京都にある大学に進み、大学時代の4年間をあれやこれやと仲良く過ごした。卒業後それぞれの道を進みそれぞれ家庭を作り、そして二人は会社勤めを全うし第二の人生をこの4月より歩き始めた。

今年の2月に3人で飲み会をやるという話になり、その場で第二のステージの記念に海外へ旅行でもしないかという話になった。私が年に二、三回中国に出張しているということですんなり行き先は中国、中国の世界遺産で有名な西安に行くと言話はトン拍子で決まった。西安は個人的にはこれが2回目である。後はすべて私にお任せとなった。翌週皆で旅行社を訪れ飛行機とホテルを予約した。飛行機は上海乗り継ぎ便が早くも満席で、上海の乗り換え便となった。現地でのオプションはその後ネットで適当に選び予約した。後は当日10時30分セントレア集合となった。

当日を迎えた。上海浦東国際空港は3年ぶりである。無事浦東空港に到着した。が何やらターミナルからずっと離れたゲートの無い場所に駐機した。降りたらバスが迎えに来ていた。やはり。空港は大規模な工事をしており到着するはずのターミナル1のゲートには駐機している飛行機はまばらであった。乗り換えの時間は約1時間半である。予め空港情報や乗り換え情報を調べておいたのだが、バスの移動や入国手続きの煩わしさ、乗り継ぎではなく乗り換えであったため経験した空港内のルートとはまた違ったルートを行かなくてはならないことなど予想はしていたが時間がかかってしまった。

なんとか西安行きに搭乗した。がその後2時間離陸せず缶詰状態。離陸せずに機内食がでた。離陸できない理由はアクシデントと離陸の順番待ちらしいが詳しくは中国語がわからないので我慢と体力勝負であった。

ということで色々ありましたが古き友人たちとの気楽で楽しい思い出の旅となりました。ちなみに今回はベトナムとなりました。

企業連・防犯協会の要望書を弥富市・飛鳥村に提出

名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会及び西部臨海工業地帯防犯協会（会長は共に嶺木昌行名古屋港木産協理事長）は、名古屋港西部地域に進出している企業の皆さんから出されたバス運行の改善、停留所の屋根の設置などや道路・分離帯の除草、樹木の剪定、渋滞の解消や道路ミラーや歩行者信号の設置、ごみの回収方法などについての要望を整理したうえで、9月18日に久野時男飛鳥村長、9月28日に服部彰文弥富市長に嶺木会長が手渡しました。弥富市、飛鳥村とも10月下旬から12月に回答がされる予定です。



久野飛鳥村長に要望書を手渡しました

名古屋西部木材港開港50周年記念祝賀会

昭和43年12月3日に開港された西部木材港は、今年で50周年を迎えます。それを記念して10月29日に名古屋駅前のキャッスルプラザで祝賀会が開催されます。会場では、50周年を写真で構成するスライドショーや記念誌が発行され、参加の皆さんに配布されることになっています。



服部弥富市長に要望書を手渡しました

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

車上ねらい被害が多発！！

蟹江署管内では、無施錠の車両を狙った車上ねらいが多発しています。被害場所は一般民家やマンション等の駐車場が多いものの、店舗駐車場に駐車して、ちょっとした買い物で車両を離れた際に被害に遭うこともあります。

防犯上の注意点

- ・短時間であっても、車内には荷物を残さないようにしましょう
- ・外からは見えないトランク内の荷物も持ち帰りましょう
- ・防犯カメラ、センサーライト、警報装置等の防犯器具を活用し、目に見える防犯対策をしましょう！

平成31年新年名刺交換会開催日のお知らせ

平成31年1月7日(月)17時～ 於 ホテルナゴヤキャッスル (旧 ウェスティンナゴヤキャッスル)  
※ご案内は後日改めて送付いたします。

◆ 広告コーナー

私たちのプレカットテクノロジーは、  
人と住宅の未来のために  
磨かれています。

Precut & Technology  
**MIYAGAWA**®

宮川工機株式会社

本社 〒441-8019 愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53  
TEL.(0532)31-1251(代) FAX.(0532)34-1956  
東京営業所 (本事業所はISO9001:2000認証取得の組織ではありません)  
〒135-0016 東京都江東区東陽5丁目15の6  
TEL.(03)3647-2140(代) FAX.(03)3647-2184  
●資料ご希望の方は、宮川工機(株)営業部まで



「プレカット」と「木工機械」の  
平安コーポレーション

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-5-2

発行 名古屋木材組合  
発行者 西垣洋一  
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10  
TEL <052> 331-9386  
FAX <052> 322-3376  
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合  
発行者 嶺木昌行  
〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74  
TEL <0567> 57-2017  
FAX <0567> 57-2018  
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会